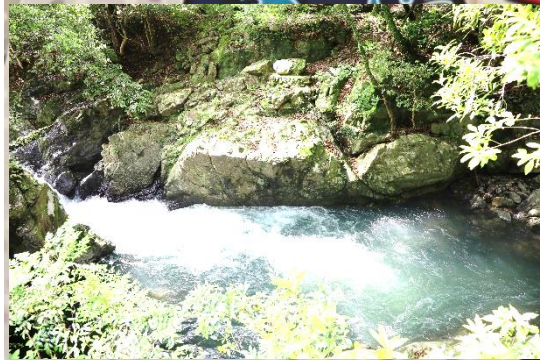


TAKEFREE

八代の民俗芸能・祭りを知るならこの1枚！

DENDEN PRESS

2025
October
No. 46



▲雨乞いが行われていた「大淵」

お宝ギャラリー 民俗芸能魅力紹介
坂本町のくらしと芸能

12月21日(日)



9月30日からお宝ギャラリーでは、坂本町のくらしと芸能ということで、鮎婦地区にポイントをあてた展示を行っているよ。今回は特別に、博物館の学芸員とコラボした展示なんだ♪民俗芸能は、その地域の人たちのくらしと関係が深いから、今回の展示では、鮎婦地区の人たちのくらしと、雨乞い踊りがどのように伝承されてきたのかをいつもより深く紹介しているよ！

展示で紹介している内容をちょっとだけ教えるね。鮎婦地区は、坂本町の東にあって、南北に長い地域だよ。棚田百選にも選ばれている日光の棚田を思い浮かべる人が多いかな？地区を流れる油谷川は、初夏には蜚が飛び交うスポットなんだよ。

この油谷川は、水位が浅い川だけど、早水地区に「大淵」と呼ばれる深いところがあるんだ。ここ以前は、雨乞いが行われていたんだって。鮎婦地区雨乞い踊りは、その雨乞いのときに踊られていた太鼓踊りなんだよ！今は活動が休止しているからなかなか見ることができないけれど、とても動きが大きくてカッコいい踊りなんだ！

展示に併せて講座もあるみたいだよ。裏面も見てね。



お祭り体感シアター

「笠鉾松」

～大変身の謎を解くのは？～

10月5日(日)～11月8日(土)

笠鉾松は、むかしは松ではなく、孔雀^{けいせう}だったというのは知つてるかの？古い絵巻にも描かれておるし、江戸時代に書かれた「八代紀行」(1764)や『嶋屋日記』の安永2年(1773)の部分にも「孔雀」と書いてあるぞよ。「八代紀行」には笠鉾は八角形だったとも書かれてるが、今の笠鉾松は六角形じゃ。

孔雀から松へ、八角形から六角形へ。いつ変身したんじゃ？その謎を解くカギは平安時代に活躍した歌人が描かれた「六歌仙^{ろっかせん}」という六角形の部材じゃ。この部材の裏に文化2年に作ったと書かれておることから、笠鉾が形を変えたのはその年だと思われるんじや。今から220年前じゃな。

ちなみに笠鉾が八角形の時は、六歌

仙に加えて二聖人

(柿本人麻呂と山部赤人^{ひと})が描かれた部材があつたようじゃよ。それ

れにしても200年以上前の部材が今も使われとるとはおお。それ

にもビックリじゃ



笠鉾スタンプ
10/5～11/8



六歌仙が描かれた部材は上笠の下の部分にある▶



かぐらちゃんの「でんでんつれづれ日記⑧」

8月14日(木)開催 ふるさと祭り植柳盆踊り

“ア～ア～肥～後～やつし～ろ～うやな～ぎ～村の～♪チヨイヨ♪” …これが頭の中で再生できた人はどこかで見聞き、もしくは踊ったことがあるんじゃないでしょうか(ﾘｳｳ) ◆

8月は市内各地区で盆踊りが行われて賑わったかと思います。今回、国選択無形民俗文化財に選択されている植柳盆踊りを見に行ってきました♪

盆踊りが行われる「ふるさと祭り植柳盆踊り」は今年で40回目ということで、大人気のくまモンがゲストに来るなど、たいへん賑わっていましたよ♪

そんな熱気漂う中、植柳盆踊りの魅力の一つ、口説き「折助おすて」を大人だけでなく、植柳小学校の児童も歌い上げていました！もちろん、大事な踊りも大人に負けないしなやかさで踊っていました★

会場は日が暮れて次第に暗くなっていったとても幻想的♥多くの地域の方々の笑顔が集まるステキなお祭りでした♪

みなさんの地域の盆踊りもどんなものか教えてくださいね♪



かぐらちゃん



予告

お祭りでんでん館体験講座
「坂本町木々子の
七夕綱飾り作り」

七夕綱飾り作り

8月の一日体験DAYで開催予定だった体験講座を日にちを改めて11月8日(土)に開催します。詳しくは来月号でお知らせします。広報やつしろ11月号にも掲載します。



おしらせ

やつしろ文化財講座④

「坂本町の民俗芸能とくらし」

とき 10月13日(月・祝)
10時～11時30分

ところ お祭りでんでん館 会議室

講師 市立博物館 学芸員 木村ひなの

お祭りでんでん館 学芸員 北原美希

定員 40人 事前申込不要

お祭りでんでん館と博物館の学芸員が八代の歴史と文化を深掘りする講座の4回目。

今回は、坂本町鮎川地区の生業を中心とした生活や伝承されてきた民俗芸能について各学芸員が45分ずつわかりやすく紹介しその魅力をお伝えします。

問合せ おまつりでんでん館
37-8737



鮎川地区雨乞い踊り



日光の棚田



でんでんHP



Instagram



会議室予約